

取組みの成果が出てきました!

奈良町の町家改修補助金が補正予算で増額されました。

江戸・明治時代の町家が数多く残る奈良町。近年、その町家と景観を将来に残すため、市が改修のための補助金を設けていますが、申込者が殺到し対応できない事態が続いています。そこで、8月の観光文教委員会でその状況を打破するため、補正予算で手当てすべきと提起しました。平成27年9月議会で補正予算(4千5百万円)が計上されました。市民と行政とが協力し合いまちづくりを進める事業であると考えます。

よこいくんの取組み

出前トーク開催報告!

平成27年8月18日、奈良市生涯学習センターにて『出前トーク』を行いました。
お声掛けくださったのは、飛鳥地区内のある町内会長はじめ5人の方々。ボランティアで介護活動される等多様な活動をされているみなさんでした。私から、自己紹介ののち、中心政策「行政改革」と「世界一バリアフリーなまち奈良」についてお話し、その後、意見交換をしました。みなさんから、精神障がい者や認知症の方への行政のケアが不安、ボランティア活動なのに精神的な重圧が大きい現場があること、公民館が市民にとって使いにくい現状があること等課題をいただきました。
できることから取り組んでいきます。

~世界で一番訪れてみたいと思える奈良を目指して!~

平城京天平祭 ボランティアスタッフ活動

平成27年5月3日から5日の3日間、平城宮跡で行われた「平城京天平祭」にボランティアスタッフとして参加しました。今年の役割は、天平行列に参加くださる方への給水や会場のゴミ集め等ウラ方の仕事でした。参加する人もスタッフも皆で作り上げる楽しさがこの天平祭の醍醐味です。横井は民間の実行委員会が発足した2005年から参画しています。

なら燈花会 ボランティアスタッフ活動

今年17回目を迎えた「なら燈花会」。「少なくとも50年は続くイベントにしたい」と思い1999年に始めました。奈良の夏の風景になりつつあるようでとても嬉しいです。今年は広報担当として、開催期間中、近鉄奈良駅前パンフレットの配布を行いました。



<近鉄奈良駅前パンフレット配布>

バサラ祭り ボランティアスタッフ活動

今年17回目を迎えた「バサラ祭り」。今年は企業協賛をいただく担当として、事前から活動していました。なら燈花会と同じ1999年夏に始まった奈良発の祭りです。「粋錦心地」、バサラ祭りの想いに共鳴し活動しています。



<スタッフ全員集合>

奈良JICA ボランティア応援団が始動!

海外青年協力隊(JICA)の活動を支援する応援団が、今年3月、奈良にもできました。横井も会員として活動しています。6月27日、元海外青年協力隊員で奈良市消防士長の竹内綾子さんの講演会を開催しました。2004年~2006年のマラウイ共和国での活動経験に加え、今年4月25日に起きたネパール大地震直後、政府派遣の医療支援チームの一員としての活動をお話くださいました。ネパールのパラビセという町で5月1日から8日間、約600人の患者の診療にあたり、医師の治療補助の仕事をされたのです。

『滞在中、患者に寄り添い「日本の心」を伝えることを心がけて行動した、これからも国際観光都市・奈良市の職員として国際協力に関わっていききたい!』とおっしゃる竹内さん。その行動力と心意気を手本にしたいと思います。

みなさんのところへ、出かけて行きます!

政治のことをわかりやすくお話しします。それが、横井雄一の「出前トーク」です。



まずは、お電話ください! 横井雄一の電話番号

090-1598-4519 まで

よこいゆういち 検索

「世界にたったひとつの奈良」の実現に向けて
サラリーマン横井の活動をお伝えします

YOKOI Report

よこいレポート

奈良市議会議員の横井雄一でございます。
「サラリーマンが普通に政治に参画できる奈良」の実現を目指し、
小さなことから少しずつ、いつもみなさんの身近にいる
政治家として活動してまいります。



7年目活動中です!!

改革は着実に進んでいます!

横井が提起し、平成25年度から始まった、家庭ごみ収集業務の民間会社への委託、担当部署の仕事のやり方の見直しなど一連の行政改革によって、奈良市役所のコストは、4億9400万円の削減効果があることが判りました。

<平成27年9月議会で横井の質問に対し、市長が発表>

25年度・26年度の累積効果額は、
4億9400万円!

【民間委託した家庭ごみの分量は全体の33%(26年度時点)】

そして、その改革によって生み出された私たちの税金は、福祉、医療、教育分野に使われています!

- 福祉** ・乳がん、子宮けいがんの未受診者に無料クーポン配布【26年度】
- 医療** ・地域包括センターに認知症コーディネーターを配置【27年度】
・医療施策展開のためのデータ分析等の基礎資料づくり【27年度】
- 教育** ・中学校での給食室建設と給食の実施【26・27年度】
・ALT増員による小学校での英語教育の充実 他 <市長発表>

削減したコストを、
市民にとって成果がある仕事に充当する。
それが行政改革だと横井は考えています。

すすめ、
行政改革!



よこいくん



みなさんの声を議会で質問しました

1 奈良でブランドを育てよう！

【27年9月議会】

横井の質問

奈良市のお茶やお酒を海外へ、首都圏へと外へのPRも理解できるが、まず、地元・奈良でブランド価値を広める努力をしては。

仲川市長の答え

奈良の優れた農産物や商品を自らもPRしていくとともに、市内での消費を促す展開も考えている。また、地元大型店でのイベントやフェア実施の支援も行う。そして、国内での食品見本市への出展も実施していく。

2 家庭ごみ収集業務の民間委託は進んでいますか。

【27年6月議会】

横井の質問

民間委託の割合が3年目(27年度)で40%を超えたことは評価したい。さらに拡大するための新しい入札制度づくりは進んでいるのか。

仲川市長の答え

市内には小規模事業者が多く公正公平な競争環境が整いにくいので、進んでいない。

さらに追及しました！

それでは何時まで経っても進まない。手がかりはあるのか。

仲川市長の答え

小規模事業でグループ化して事業組合を作ってもらおう方法を考えている。今後、詳細に制度を作っていく。

最後に要望しました！

困難な仕事だが全国には先進事例もあるので、進めてもらいたい。

3 必要ない時間外勤務をさせてませんか。

【27年6月議会】

横井の質問

ごみ収集職員の時間外勤務。業務の見直しを行ったのに、25年度は前年に比べて一人あたり年間44時間増えている。約100人の職員が対象で影響が大きい。なぜか。<平成24年度 231時間 → 25年度 275時間>

仲川市長の答え

収集体制を維持するため正規職員の時間外勤務でカバーしている。体制を改善したい。

バリアフリーな行政サービスを！

4 文字をもっと大きくして！

【27年6月議会】

横井の質問

例えば「納税通知書」。この中には小さすぎて読めない文字がある。高齢社会は進んでいる。もっと見やすくすべきでは。

総務部長の答え

確かに小さい部分があり配慮が必要である。レイアウトや記載内容を見直して改善したい。

さらに要望しました！

奈良市の心がけ次第のことが多い。また、システム業者に改善要望すべき。

小さすぎる文字

固定資産税納税通知書

軽自動車税通知書



5 障がい者の対応、もっと丁寧に！

【27年6月議会】

横井の質問

4月に市役所を訪れた全盲の市民への、職員たちの対応はひどい。障がい者への配慮が感じられない。改まるのか。

保健福祉部長の答え

福祉行政の窓口で発生したことは遺憾である。発生してすぐの5月、部内全職員に行き渡る研修を行った。今後は、他部局の範となる対応を行う。

さらに要望しました！

他の窓口も他人ごとではない、保健福祉部を手本としてもらいたい。

6 聴覚障がい児教育をもっと充実して！

【27年6月議会】

横井の質問

「椿井小学校」について

椿井小学校の難聴児教育は、教師、教室、設備機器が充実しており県内屈指。支援施設がない他の都市から転入者を受け入れては。

学校教育部長の答え

過去に事例がないが、他市から要請があれば奈良県とも調整し、判断したい。

横井の質問

「三笠中学校」について

小中一貫教育を進めるのなら、三笠中学校にも通級指導教室を開設し難聴児教育を充実させるべきでは。

学校教育部長の答え

現在は希望者がいないので開設していないが、希望者があれば県へ要望するなど努力する。

さらに要望しました！

今までやったことのないことに挑戦してこそ、奈良市の、特別な支援が必要な子供の教育が充実する。私も努力する。

7 「ゴミ出しが大変！」という声を聞いていますか。

【27年5月厚生消防委員会議会】

横井の質問

「代わりにゴミ出ししてくれる人がいない」といった高齢者や障がい者の声を聞いたことがありますか。

福祉政策課長の答え

平成26年に行った調査※1)では、ゴミ出しなど生活支援を願う声を聞いている。
※1 平成26年7月から9月、奈良市社会福祉協議会に委託し、市西部地域を対象に「既存の支援から抜け漏れる福祉ニーズ及び対象者についてのヒアリング調査」として実施したもの。

子どもをつくりたいと思える奈良を！

8 保育士さんは確保できますか。

【27年5月厚生消防委員会議会】

横井の質問

2年後、全国で保育士さんが7万4千人不足※2)と言われている。奈良市は大丈夫か。

子ども未来部長の答え

実習生を受け入れている大学や短期大学等への声掛けや、保育士養成校への訪問にも取り組む。また、処遇は大きな課題と捉え、その改善も研究する。

※2 2017年度末には保育士が全国で7万4000人不足すると厚生労働省が予測している。

新しい役割になりました！

『奈良市監査委員』に就任しました。(平成27年7月3日任命)

主な仕事は、奈良市の財政、契約、業務が適正に行われているかを詳細にわたりチェックするのが仕事です。

『観光文教委員』に就任しました。

この委員会の担当分野は、観光、経済、商工、農業および学校教育全般に関することです。

『基本計画検討特別委員』に就任しました。

奈良市将来計画で2010年から2020年までの10カ年分をまとめた「奈良市総合計画」の後半5カ年分を見直すため議論し計画を決めるのが役割です。